

トルネードクリーナーⅢ Q&A

Q1. ホームタンクはどの位のサイクルでクリーニングすれば良いですか？

A1. ホームタンクの使用状況や地域性によっても異なりますが2～3年に一度クリーニングするのが良いでしょう。
(海沿いなど塩害地域など悪条件下の所は1～2年に一度)

Q2. 水抜き剤は、どの位の量を入れれば良いですか？

A2. 灯油500Lに対し1Lの割合で入れてください。多く入れると灯油成分に影響しますので、入れ過ぎは禁物です。

Q3. 1Lの水抜き剤でどの位の水を処理できますか？

A3. 約16mlの水を取る(中和する)ことが出来ます。

Q4. なぜ水が取れるのですか？

A4. 水抜き剤の主材料はイソプロピルアルコールです。性質上水と灯油は溶解しませんが水とアルコールは溶解します。
アルコールと灯油も同様に溶解しますのでこの性質を利用して水と、灯油を中和して燃やしてしまう仕組みです。

Q5. ホームタンクを1台クリーニングするのに、どの位の時間がかかりますか？

A5. 搭載しているポンプは、1分間に最大吐出量50Lの能力がありますので、500Lタンクをクリーニングするのに約10分～15分の時間を要します。前後の準備を入れても20～30分程で終わります。

Q6. ポンプの寿命はどの位ですか？

A6. ポンプ寿命は約3,000時間です。これは1回の作業に30分使用したとして約6,000回使用できる計算です。

Q7. ポンプの電源はどうなっていますか？

A7. トルネードクリーナーⅢの電源はAC100Vです。お客様のお宅で電源をお借りしても良いですし、定格350W程のインバーターを使用すれば作業車のバッテリーからでも電源を取ることが可能です。(電源コードの長さ3m)

Q8. ディスクフィルターは使い捨てですか？

A8. いいえ。ディスクフィルターはクリーニングした後、灯油で汚れを洗ってください。
また、1日の作業が終わった時には、中性洗剤を付け、ぬるま湯でよく洗い、陰干しして乾かして下さい。
但しディスクフィルター及びパッキン類は消耗品です。交換時期は使用頻度によりしますので、ご使用前には必ず各部を点検し定期的に交換してください。

Q9. 最初別容器に出した水が入った灯油はどう処理すれば良いですか？

A9. 灯油専用水抜き剤を吸わせたホースを使って、上澄みの灯油だけを吸いとりタンクに戻してください。
(残った水は廃棄してください。)

Q10. ホームタンクの上に屋根が付いている場合でも、吸入パイプは入りますか？

A10. その場合は吸入パイプ部がホースになっているオプションの自在吸入管をお求め下さい。

Q11. 小型との事ですが大きさはどのくらいですか？

A11. 本体のサイズは、60(幅)×25(奥行)×50(高さ)cmで、重量は約16kgです。
吸入側は、パイプの長さが120cmこれに2.5mのホースが付きます。
吐出側は、ノズルの長さが40cmこれに2.5mのホースが付きます。

Q12. 以前モデルのトルネードクリーナーⅡと今回のⅢの違いは？

A12. 改良点は以下の通りです。

- ・ディスクフィルターの大型化

Ⅱ型では、ホームタンクの汚れがひどい場合、ディスクフィルターを別に1set用意して途中で取り換えているのご意見を元にⅡに比べ約2倍の容積(中に入っているフィルターディスクも約2倍の枚数)にしました。これにより一度に多くの汚れを取ることが可能となりました。

注) 本体フレームも専用設計となりますのでⅡ型との互換性はありません

- ・吸入/吐出ホースの材質を変更

Ⅱ型に比べ時間が経っても硬化し難いホースを採用したことで作業性が良くなりました。

- ・各部品をステンレス化することによって耐久性を向上しました。